

昔からずっと、これからも。トクして学ぶ、エコマガジン。

ちょこっと えーこと

えこっと OSAKA

大阪府地球温暖化防止活動推進センター
情報誌

2009
秋
vol.23

つくって楽しむ博物館
ナヤ・ミュージアム

音楽家／エコピープル
石田 裕之さんに聞く

一緒にライブしませんか？
演奏者募集！
大阪から全国へ 地球を守りたくなる歌詞発表

日本一熱いだけではない
岸和田だんじり祭

えこっと OSAKA

2009 秋号 vol.23

編集・発行／大阪府地球温暖化防止活動推進センター
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 財団法人 大阪府みどり公社
TEL 06-6399-1111 FAX 06-6399-8888 http://osaka-nidori.jp/

編集協力・印刷／株式会社ウイルハーツ
〒532-0002 大阪市淀川区東三国4-3-1 グロリア2402階
TEL 06-6399-0100 FAX 06-6399-0100

ファックス送信

アンケートにお答えください。抽選で下記商品をプレゼントします！

Q1 おもしろかった記事はどれですか？記号に○をつけてください

- A. 日本一熱いだけではない 岸和田だんじり祭
- B. つくって楽しむ博物館 ナヤ・ミュージアム
- C. 音楽家／エコピープル 石田 裕之さんに聞く
- D. 一緒にライブしませんか？演奏者募集！

Q2 おもしろくなかった記事は？記号に○をつけてください

- A. 日本一熱いだけではない 岸和田だんじり祭
- B. つくって楽しむ博物館 ナヤ・ミュージアム
- C. 音楽家／エコピープル 石田 裕之さんに聞く
- D. 一緒にライブしませんか？演奏者募集！

Q3 今後取り上げてほしい内容を教えてください

Q4 どこで「えこっと OSAKA」を手に取りましたか？

Q5 本誌を読んで環境に対する考え方に変わったことはありますか？

住 所

氏 名 男 ・ 女 年 齢 才 TEL

お答えいただいた内容や個人情報は、「えこっと OSAKA」の誌面制作の目的以外に一切使用いたしません。

Present!



だんじりの再利用
ヒノキ製のお箸

抽選で3名様に
プレゼント！

提供：泉州だんじりの森プロジェクト 様

だんじりに使われている木はケヤキ・ヒノキ・アカマツなど。それぞれに特性があり、木目が美しいケヤキは本体に、粘りが強く割れにくいアカマツはコマ(車輪)に、耐久性があるヒノキは前艇子に使われます。

この、だんじりの前艇子の端材を再利用して作ったヒノキ製のお箸を3名様にプレゼント！

少し桃色がかかった上品な色合い。軽くて使いやすいお箸です。

ご応募は下記ファックスまたは、メールアドレスまで。

締切り●平成21年9月25日(金)まで。

※当選者発表は商品の発送を持ってからさせていただきます。

●ご応募はこちらまで

FAX.06-6399-9550

ファックスされる際は送信面の向きにご注意ください。

●Eメールでもご応募できます！

E-mail:ecotto@w-hearts.jp

QRコードからもご応募可能です。



永和信用金庫

えいわエコ定期積金
募集開始

永和信用金庫(小林泰 理事長 大阪市浪速区)では、個人向け定期積金「えいわエコ定期積金」を8月3日(月)～9月30日(水)の期間、募集しています。お客さまに地球環境問題を訴え、一人でも多くの方に関心を持っていただくことが目的です。勧誘時に定期積金の主旨を説明し、また契約高の0.02%相当額を、同庫が契約者の負担なしで大阪府地球温暖化防止活動推進センターに寄附するというものです。環境保護活動の選択肢として、同庫の環境問題への取組みにぜひご賛同ください。詳しくは永和信用金庫窓口、担当者までお問い合わせください。

お取扱期間：平成21年8月3日(月)～9月30日(水)
http://www.eiwa-shinkin.co.jp/

『えこっと OSAKA』を
購読しませんか？

継続して購読されたい方は、1期(4号：年4回発行)送付分の切手、120円分4枚をご用意いただき、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分から送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。
●あて先 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 財団法人 大阪府みどり公社 大阪府地球温暖化防止活動推進センター
お近くの市町村(環境担当部署)、消費者生活センター、府立図書館、府民情報プラザなどでも配布しております。

えこっと OSAKA

「えこっと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしをちょこっと(少し)だけ、えーこと(良いこと：やさしい)、エコロジカルにしよう、大阪言葉を交えた意味を込めています。

なにわのSTOP!!温暖化大作戦
大阪大会開催!!



マスクットキャラクター
「エコたま」

「なにわのSTOP!!温暖化大作戦」に、応募いただいた取組みについての発表会「なにわのSTOP!!温暖化大作戦大阪大会」を開催いたします。
この事業は、環境省の「一村一品・知恵の環つくり」事業として行われるもので、本事業の実施により都道府県をまたいだ地域間連携を創出し、さらなる温暖化対策の推進を図るものです。大阪大会では、全国大会に出場いただく代表も決定します。また、本大会は、独立行政法人 日本万国博覧会記念機構が主催する「エコフェスタ2010 Osaka」の会場にて開催いたします。楽しい催しが多数ございますので、皆様のご来場をお待ちしております。

—— 大阪大会ご案内 ——	
開催日時	平成21年11月7日(土) 13時30分から16時まで
開催場所	万博記念公園 自然観察学習館 エコフェスタ2010 Osaka 会場
内 容	「なにわのSTOP!!温暖化大作戦」 応募団体のヒアリング審査
入 場 料	無 料 (別途万博記念公園入園料が必要です)

お問合せ
大阪府地球温暖化防止活動推進センター
TEL 06-6266-1271
FAX 06-6266-1865
担当 田中まで
なんどかせんとアカン!



日本一熱いだけではない

岸和田だんじり祭

精巧な木工細工が駆け抜ける 岸和田だんじり祭

壮観なだんじりが路地を猛スピードで駆け抜けることで有名な、岸和田だんじり祭。大阪湾から秋の浜風が吹くと、お祭りの合図です。祭りの醍醐味と言われている「遣り回し」。

だんじりを、速度を緩めることなく直角に方向転換させることを言います。

集団で一気に難所であるS字カーブの街道を曲がる様子は、鰯の群が一斉に方向転換するようだ、という比喻もあります。

重さ約4トンのだんじりには、各町自慢の精巧な彫物がほどこされていることは、知らない人も多いかもしれません。走る動の魅力に対して、静のだんじりの見応えはここにあります。

彫りのモチーフは霊獣・花鳥風月・神話・源平合戦・太平記・太閤記・忠臣蔵・難波戦記などの物語の図柄で、彫物師がほかの町と競って工夫を凝らしています。だんじりに組まれる部品の数は300部材を越え、これは全国に数ある山車・だんじりのなかでも日本一です。だんじり本体の材に選ばれるケヤキは、大分県や宮崎県で採取されるものが多く、ケヤ

では実際に地元の方の、だんじり祭に対する想いはどういうものなのでしょうか。

泉州地域の活性化のために、「フリーペーパーの発行や地域PRイベントなどを行っている」、「泉州だんじりの森プロジェクト」事務局長で、だんじり研究家でもある萬屋誠司さんに話を伺いました。

――

だんじり祭りはたしかに「遣り回し」で有名ですが、そのせいで、岸和田の祭りは単に事故や民家の破損を省みない、荒々しい祭りだ、というイメージが付き纏っていると思うんです。

でも、岸和田の木工職人が、歴代名人の芸を受け継いで彫ったものをひと目見ていただければ、（だんじり制作費用は一台一億円。参加者個人でも数十万円という単位の寄付金で寄せられる。）これを自分たちでわざわざぶっつけて壊そうとするわけがないでしょう、ということを理解してもらえないと思います。

――



泉州だんじりの森プロジェクト
専務理事兼事務局長（だんじり研究家） 萬屋誠司さん

そうは言っても、やはりこの精巧な木彫りを美しく速く動かす、というところに岸和田の祭りの真骨頂がある、という点は譲れません。もし祭り全体の結束力が弱まって緊張感が薄ければ、事



だんじりの松良（まつら）と呼ばれる部分の彫り物。
歌舞伎の演目などが題材として選ばれる

木の産地に「岸和田が買いに来ている」という噂が流れると、たちまち価格が高騰するほど、岸和田の工務店が多く落札します。

この建造物でもあり車両でもあるだんじりは、構造的に曲がるようにできていないので、そもそも直角に曲がることは無理があります。その無理を超えてしまつのが、各町が腕を競つ、「遣り回し」の技術と度胸なのです。

泉州だんじりの森プロジェクト

そのだんじり祭を次の世代に引き継ぐための新たなアクションが始まっています。岸和田を含め泉州地方のだんじりは総数275台あり、約4トンのだんじりを支えるコマ（車輪）は遣り回しの為損傷が激しく、毎年約1600個ものコマが消費されています。直径約60センチ、幅約30センチのコマの材料は、粘りが強

故が発生する可能性があるくらい、ぎりぎりのことをやり遂げるのが「遣り回し」なので、みんな真剣にコミュニケーションを取ろうとします。町会組織は、体育会系な部分もあるので、民主的なことを意見しても通らなかつたり、楽しいことばかりではありません。でも、息を合わせるためには、お互いの顔を知っているということが大事だし、最低月1回は寄り合いをして、互いを親しく呼び合つて、お盆が明ける頃には連日、祭りの準備のために集まる、といったことが町ごとに大切にされています。1年を通して走りこんで体を作つて、寄り合つて準備を一緒にすすめて、2日間の曳行をやり遂げたときは、最高に幸せです。

――

今は祭りに対して、地域振興のツールとしても関心が高まっているせいか、「どうして岸和田の祭りは若い世代がたくさん参加しているのですか？」という質問を受けることがあります。これは、祭り自体が祖父母以前の代から受け継がれていて、代々祭りに参加することがかっこいいことだという美意識が形成されているからです。

そういう中で、だんじりに木をふんだんに使わせてもらっていることへの感謝の気持ち、先祖への恩返しという意味合いで、植樹をすることなつたのです。ボランティアから始まりましたが、継続できる事業にするために、この8月末に一般社団法人を設立します。

岸和田商店街の中に近々、カフェとギラ



く割れにくいアカマツが利用されてきましたが、松くい虫の被害によって国産材のアカマツは激減したことや、輸入材との価格競争の結果、国内の林業が衰退しているため、材料不足が懸念されています。合板材のコマも開発されていますが、マツ材のコマは数年先までしか安定して確保できないという危機的状況下にあります。この状況を打開するため、地元の曳き手有志たちが立ち上がり、だんじりに使用するさまざまな木材を植樹する「泉州だんじりの森プロジェクト」を立ち上げました。だんじり製作時の廃材のリサイクルなどで収益を得て、だんじりづくりに必要な木の植林を行う循環型のだんじり保存を目指しています。第1弾の取組みとして、2008年12月、「泉州だんじりの森@コスモ山植樹祭」が開催され、約100人が参加し、マツ1000本や華美な彫物が美しいだんじり本体の材料となるケヤキ200本、ヒノキ100本が植樹されました。



植樹のようす

リーをオープンします。フェアトレードのコーヒーなどが飲めて、だんじりに使われていた木に触れることができ、本も読めてくつろげる喫茶店です。環境問題に興味を持った人たちの、南大阪の拠点になればいいなと思っています。

岸和田だんじりの精神

多くの参加者が、仕事を休んでも祭りの準備に関わっていたいと思うほど、深く生活の中に根付いただんじり祭。植樹を行つただんじり子たちの心意気は、現在はもちろん、遠い将来を見据えています。だんじりづくりに欠かせない木を植え、守っていくことは、萬屋さんが語るように木への恩返しの意味もあります。

次の世代のために、歴史を受け継いでいくという強い思いは、やがて実を結び、未来もだんじりは勇壮にこの街を駆けていることでしょう。

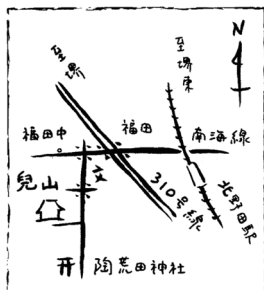
だんじり祭情報

1703年（元禄16年）、岸和田城主が京都伏見稲荷を城内三の丸に勧請し、五穀豊稔（五穀＝米、麦、豆、あわ、ひえ）を祈願して行つた稲荷祭がだんじり祭の始まりと言われています。

平成21年岸和田だんじり祭は、祭礼年番長より例年どおりの日程（敬老の日の直前の土曜と日曜）で開催する旨発表されました。

（平成21年6月16日）

- 9月6日（日曜日）第1回試験曳き
- 9月18日（金曜日）第2回試験曳き
- 9月19日（土曜日）宵宮
- 9月20日（日曜日）本宮



つくって楽しむナヤ・ミュージアム 博物館 @ 堺市・陶器北

ナヤ・ミュージアム——堺市陶器北にある^{こやま}児山家には、江戸時代のくらしぶりを今に伝える屋敷や用具、農具が数多く残っています。児山家は人が住みながら修復を重ね、周辺の住民たちの手によって、文字通り納屋などを利用し、博物館として再活用されています。地域の人々が作り手となって参加する博物館とはどういったものなのでしょう。

児山家に継承されている室礼・技術

葭戸（よしど）



縦にはわせた植物のヨシは、中がストローのように空洞になっていて、通り抜ける外気の温度を下げます。毎年7月上旬に、家中の戸を葭戸にはめ換えるのが季節の室礼。見た目も実際に涼しいです。
※室礼：季節ごとの行事。

芭蕉布（ばしょうふ）



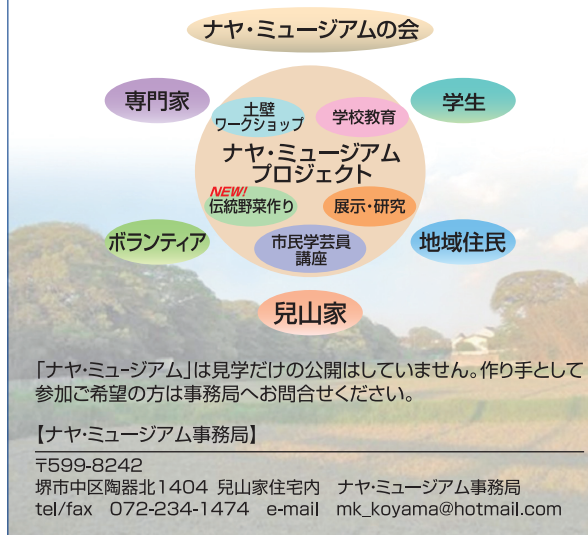
座敷の襖に貼られているのは、襖紙ではなく芭蕉布。「芭蕉」は糸芭蕉・実芭蕉・花芭蕉の3種類あり、バナナ＝実芭蕉です。沖縄・奄美地方の織物で、15世紀から現在まで同じ工程と技法で織られています。とても軽くて風通しがよく、暑い沖縄の気候から生まれたらしい織物です。

土壁（つちかべ）



土壁の土は粘土、砂、すさ（稲わらや麦わらなどの繊維）を混ぜます。すさが発酵することで程よい粘り気を出し、ひび割れにくい材質になります。発酵させる段階で、取り壊した古い土壁を混ぜ合わせると、さらにひび割れにくくなります。

ナヤ・ミュージアムに参加する方法は、たくさんあります。



ナヤ・ミュージアム ブログ ⇒ <http://blog.zaq.ne.jp/nayamuseum/>

伝統技術の継承

軸や資料の調査研究を続けています。

国の登録文化財に対して、国から市町村に地方交付税が下りますが、一般会計に入るため、所有者には入りません。個人で文化財修復を行うことへの費用面・技術面での不安も大きかった中で、児山さんは京都の町

家の勉強会などに参加しました。土壁の「ねこ」積み（土を固めてブロック状に積むこと）や荒壁づくり（寝かしておいた土に、水とスサを混ぜてちょうど良い固さに練つたものを、竹で編んだ壁の土台に塗りこんでいく）は、年配の方たちが「昔は自分でやったことがある」と懐かしそうに話しているのを聞き、自

文化と技術の再発信

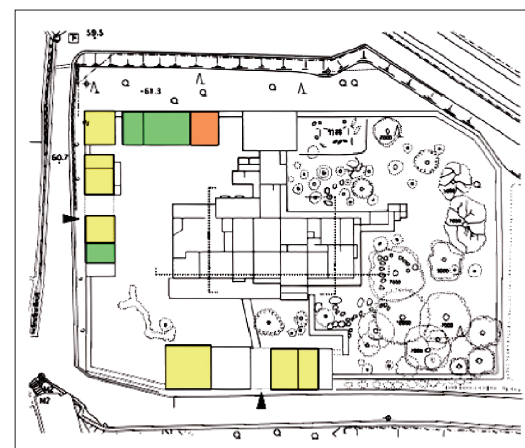
分たちもできる、と自信を持ったそうです。

学生時代から参加している中谷澄乃さんは、幼少の頃、児山家と家族ぐるみの付き合いがあり、大阪を離れて成人してから、古くから現代に残る技術に惹かれ、大学の卒業制作でこのプロ

ジェクトについて考察しました。現在はダイレクターやプログを通して、ナヤ・ミュージアムの魅力を発信しています。幼少期に身近にあったにもかかわらず、知ることのできなかつた価値の大きさを、これからひとつひとつ学んで理解したいという欲求が、今の中谷さんを動かしています。



三和土（たたき）の土間。夏でもひんやり涼しい。



児山邸・平面図



児山邸・外観

江戸のくらしを伝える 児山家

その昔、須恵器の一大産地だったことで知られる堺市・陶器北。バス停「福田中」を降りてしばらく歩くと、なだらかな丘の続く田園風景が広がります。陶器川を背にしたゆるやかな傾斜地に大きな木造平屋建築の児山邸があります。

四方に土蔵と土塀の残るこの住宅は、資料が発見されていないため、建築年代は不明ですが、江戸時代に豪農が住み、参勤交代の武士が立ち寄ることができた門長屋、馬小屋を備えた建築



陶器川の小橋から臨む 児山邸

物でした。現在は児山さん一家が、地域の人たちと一緒に老朽化した箇所を修復しながら、暮らしています。

児山家と 地域の人々

2001年、児山家は国の登録文化財に登録されましたが、児山邸に隣接する「児山邸本家」は都市開発の影響を免れず、取り壊され、跡地にはマンションが建ちました。

この開発を目の当たりにした近隣の主婦が「建物自体は所有者の物でも、建物を含むこのあたりの景観はみんなのものなので、この家を残して欲しいと思う。私たちに何か、お手伝いできることはないですか？」と児山さんに声をかけ



たのがきっかけで、敷地周りの掃除から始まり、今では敷地内の蔵に散在している数多くの貯蔵品を整理する作業、雛人形の出し入れや葭戸の入れ替えなど、季節ごとに行う年中行事（＝室礼）までが、児山家周辺に暮らす人々の共同作業になりました。

ナヤ・ミュージアムのはじまり

当主の児山万珠代さんは、さらに地域のために、家を活用したいと、元堺市博物館副館長の中井正弘さんに相談しました。中井さんらは、登録文

化財は外観を大きく変えなければ届出をしなくても内装工事ができることに着目し、児山さん一家が暮らす母屋・座敷などを除く、門長屋や土蔵などを展示スペースに改装するプロジェクトを立ち上げました。これが地域住民とともにつくって楽しむ博物館「ナヤ・ミュージアム」づくりの始まりです。ナヤ・ミュージアムという名前には、文字通り「納屋を使っていること、中世堺の繁栄を支えた「納屋衆」の自治の心意気で作った」という想いが込められています。また、運営スタッフを育てるために、中井さんが収蔵品の展示・保管などの知識をメンバーに教える「市民学芸員講座」も行い、児山家に眠っていた掛け

「知ることの楽しさをもっと多くの人に体験してもらいたい。」文化財を取り巻く財政や制度については、さらに多くの研究・議論がされなければならないでしょう。

一緒に万博公園で演奏者募集！ ライヴしませんか？

本紙夏号で、地球温暖化防止活動推進ソングの歌詞を募集した結果、熱い想いの詰まった作品を11名の方からお寄せいただきました。どの作品も、楽しい歌にするための工夫が随所に見受けられる秀作でした。歌詞をお寄せくださったみなさま、ありがとうございました。2時間に及ぶ選考委員会で話し合われた結果、大阪市淀川区にお住まいの森下宗一郎さんの作品が採用されました！

この歌詞に石田裕之さんが曲をつけてCD化します。また、「一村一品 知恵の環づくり・大阪大会」の会場・万博公園で演奏されます。そこで今回は、「地球温暖化防止」活動の趣旨に賛同し、万博公園のステージで石田さんと一緒に演奏したい！という方を募集します。

【募集期間】 平成**21**年**8月25**日(火)～**9月15**日(火)

募集要項

1 応募資格

現在、楽器の演奏活動をしていらっしゃる10代～20代の方で、右記「今後の予定」に参加可能な方。

簡単な譜面が読める、あるいは耳コピーのできる方。

楽器のプロアマは問いません。

2 応募規定

郵送、ファックス、E-mailで応募可能です。演奏できる楽器と演奏歴・住所・氏名・年齢・職業(学生の方は学校名・学年)・電話番号・E-mailアドレスを明記の上、下記の応募先までご連絡ください。

追ってオーディションの日時と場所をご連絡します。

3 応募先

〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8

財団法人 大阪府みどり公社 赤坂 宛

【電話】06-6266-1271 【FAX】06-6266-8665

【E-mail】center@osaka-midori.jp

今後の予定

9/
15 火

ライブ演奏ミュージシャン公募締切

9/
25 金

オーディション
大阪市内のスタジオにて。
詳細は応募者に直接ご連絡いたします。

9/
28 月

オーディション結果通知

10/
16 金

レコーディング
オーディション通過メンバーと
石田裕之さん

11/
7 土

万博記念公園
お祭り広場にてライブ演奏
大阪府下の小学生のコーラス参加あり



音楽家／エコピール

石田裕之さんに聞く

本紙夏号で募集しました「大阪から全国へ 地球を守りたくなる歌詞」に曲をつけてくださるのは、音楽・環境の両分野にまたがって活躍中のシンガーソングライター、石田裕之さん。

石田さんの曲作りに対する姿勢や、エコロジへの取組み方とはどのようなものなのでしょうか。

「エコロジ」はロックだと思っうのです。

——10代の頃はロックなニュアンスの激しい音楽も演奏されていたようですが、今の演奏スタイルは優しくて、攻撃的なものとは正反対ですね。

音楽的表現の方法としては、アコースティックギターを弾きながら歌うという方法をとっているの、優しいイメージがもしもせんね。ただ、僕はロックというののはやはり社会の現状に対して、何かおかしいんじゃないか、という思いを表現するスタイルだと思っいます。そっ



う点で、現在大多数の人が気に留めずに見過ごしてしまっていることを気付かせたり、環境を守るための知識を身につけて実践していこう、と情報発信していくことは、姿勢としてはロックだと思っいます。

——ライブ演奏と同じくらい、エコロジに関する知識を広める活動に力をいれてっしやいますね。

大きな夢を持つことやビッグになりたいと思っことは、もちろん素晴らしいことですが、環境に

ついで考えるうちに、身の回りの小さな幸せに気付けるような、新しい「人生の楽しみ方」を探すほうがいいのではないかと思っようになりました。

わたしの町はいい町だ、地元の人はみんないい人で、近くで穫れた野菜が美味しくて、近所のあの人の歌はステキだ。そう気付けるのが、ほんとの幸せかもなあというのが僕の想いです。

ひと・まち・しぜん、すべてはつながりあっていますから、僕は音楽ばかりではなくて、いろんな分野で少しでも社会の役に立ちたいと思っ、環境活動にも取り組んでいます。

——音楽と環境の両方にまたがる活動をされていると伺って、自然風景や植物から楽曲のインスピレーションを受ける方というイメージを持ったのですが…実際曲がでる瞬間は、どんな感じなのですか？

いつひらめくのかは、自分でもわからないものです。シャンプーしているときの場合もありますし、朝目が覚めてすぐに思っくこともあります。日常的にずっと音楽のことを考えているので…いい曲ができてっ予感をイメージするといっか、いい曲ができて鳥肌がたっている、喜んでる自分を常にイメージしています。なので、曲や歌詞が出てくる瞬間といっうのは、脳の中にあっったものが、心が揺さぶられたときに零れ落ちるようになっろっとしてくる、という感じっです。

プロとして作曲するには、知っている音楽の絶対量が多くなっだめっです。いろんな曲をたくさん聴いて、聴けば聴くほど、それとは違っ何かを自分で作りたくなっります。

大阪から全国へ地球を守りたくなる歌詞発表

今回、「大阪から全国へ 地球を守りたくなる歌詞」に採用された作品を紹介します。

※楽曲として発表する際、歌詞修正及び補正がある場合があります。

これから10年 何が待ってるのかな
僕たちの子どもは 自分を信じて生きてるかな
僕たちは仲良くしてっいるかな
僕はまだ歌ってるだろっうか

これから10年 何が起るかな
僕たちの地球は 笑ってくれるかな
空と雲は仲良くしてっいるかな
僕はまだ歌ってるだろっうか

自然を取り戻すのは そんなに簡単じゃない
ひとつひとつ 思考と実行を
積み重ねて 続けていくんだ

最初は踏み出すことをためらっって
何もやろっうとは思わなかつた
明日を見つめて 今日を変えてく
気付いたのさ 10年後もそっうだといっいな

これから100年 何が待ってるのかな
僕たちの夢は夢をこえて生きてるかな
花たちは風に揺れてっいるかな
風はまだ歌ってるだろっうか

自然と暮らしてっいくのは
そんなに簡単じゃない
ひとつひとつ 「コ」ロとキズナを
つなぎあって 続けていくんだ

最初は踏み出すことをためらっって
何もやろっうとは思わなかつた
明日を見つめて 今日を変えてく
気付いたのさ 10年後もそっうだといっいな

事務局・問い合わせ先

財団法人 大阪府みどり公社 内 大阪府地球温暖化防止活動推進センター

〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 【電話】06-6266-1271 【FAX】06-6266-8665

プロフィール

いしだ ひろゆき 1980年12月21日生まれ。兵庫高校、神戸大学法学部卒。神戸在住、プロのシンガーソングライター、エコピール。第1回環境社会検定合格。活動テーマは「ひと・まち・しぜんに優しい音楽」。

2003年12月、阪神淡路大震災の復興の象徴である「神戸ルミナリエ」の存続を願い、シングル「聖夜」を発表。収益金を全額寄付。2004年から、神戸まつりPR活動「神戸まつりキャラバン隊」に毎年参加。同年から「みなとこうべ海上花火大会」の会場音楽をプロデュース。2005年、神戸市代表の一人として愛知万博にも出場。地域を元気にする音楽活動や楽曲提供で、「文化の地産地消」を目標に掲げている。

歌と話をまじえた学校講演が50回を超えるほか、里山体験ツアーの開催やほぼ毎日更新のエコブログ、毎週レギュラー出演中のハニーFM「SOUND5」でのエココーナーなど、環境活動にも取り組む。丹波篠山築城400年祭市民企画「しあわせの日」実行委員長。神戸市立森林植物園「お散歩コンサート散策会」通年開催。

作品紹介



■アルバム「しぜんに」(2006.12.17)
全15曲 ¥3,000(税込)
自然との共生、ていねいな暮らしをテーマに、石田裕之さんの想いの全てを込めた、ファースト・フルアルバム。
“初めての1枚”に、ぜひ聴いていただきたい作品です。



■アルバム「Summer of Life」(2007.8.4)
全11曲 ¥3,000(税込)
テーマは「おうちで出来る夏のエコ」！
お子さんが口ずさめるような、短くて軽快な曲が多い意欲作です。

石田裕之さんのCDは製造工程で発生するCO2の一部をカーボンオフセットしています。

公式ホームページ <http://www.insomnia.co.jp/>
ブログはほぼ毎日更新。楽曲の視聴・ダウンロード購入もできます。